

“夢”かなうまちへ

～新たな賑わいと交流の創出～

町田市中心市街地まちづくり計画

概要版

目次

- 1 計画の位置付けと役割..... 1
- 2 まちづくりの再スタート..... 1
- 3 まちづくりの取り組み..... 2
 - (1) 将来のまちの姿と6つの「目指すこと」..... 2
 - (2) “夢”まちプロジェクト..... 3
 - (3) まちづくりの進め方..... 5

“夢”かなうまちへ

～新たな賑わいと交流の創出～

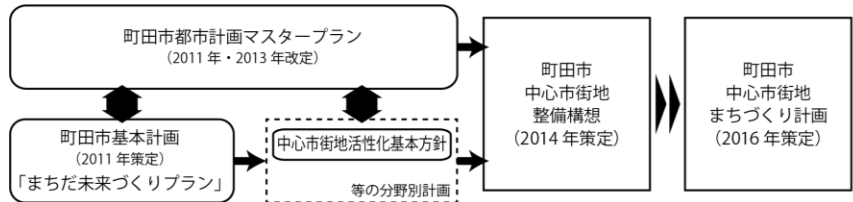
様々な人が「夢」を持ってまちづくりに参加し、それがまちの力になる。

そして、まちの魅力が高まり、訪れる人の「夢のような時間」に繋がっていく…

この計画書は、そんなまちづくりへの思いを込めてまとめました。

1 計画の位置付けと役割

「町田市中心市街地まちづくり計画」の位置付けと役割を示します。



P.01

3 まちづくりの取り組み

(1) 将来のまちの姿と6つの「目指すこと」

- 1) 将来のまちの姿「“夢” かなうまち」
“質の向上” に重点を置いたまちづくりを進めることにより 2030 年に実現する将来のまちの姿を示します。
- 2) 6つの「目指すこと」
将来のまちの姿の実現に向けて、6つのことを目指してまちづくりの取り組みを進めます。



P.02

(2) “夢” まちプロジェクト

「“夢” かなうまち」の実現に向けた具体的な取り組みとして掲げる、プロジェクトを示します。



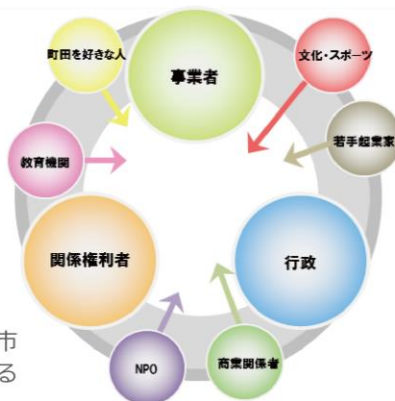
(3) まちづくりの進め方

- 1) 進め方の視点
「新しいまちづくりの進め方」の3つの視点を示します。

- 3つの視点
- ① 担い手の拡大
 - ② 既存資源の活用
 - ③ 柔軟かつ広がりある進め方

2) まちづくりの体制

様々な担い手の参画と、町田市中心市街地活性化協議会と町田市の連携によるまちづくりの体制を示します。



P.05

2 まちづくりの再スタート

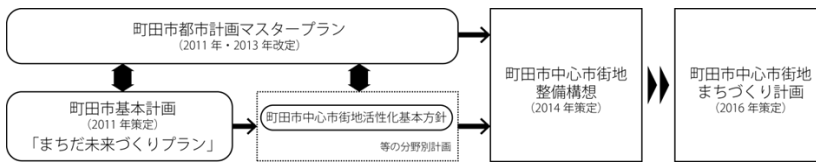
これまでのまちづくりの状況・課題から、まちづくりの再スタートの必要性を述べ、その方向性を示します。



1 計画の位置付けと役割

町田市では、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」や「町田市都市計画マスタープラン」に基づき、「町田市中心市街地活性化基本方針」等の分野別計画と連携しながら、中心市街地の更なる整備に向けて、市民・事業者・市の協働のまちづくりの指針として「町田市中心市街地整備構想」を2014年3月に策定しました。

今回策定する「町田市中心市街地まちづくり計画」は、中心市街地におけるまちづくりを具体的に進めるために、町田中心地域の人口がピークを迎えると予想される2030年のまちの姿と、その実現に向けた取り組みや体制等を示すことで、まちづくりを進める上での“道しるべ”となる計画とします。



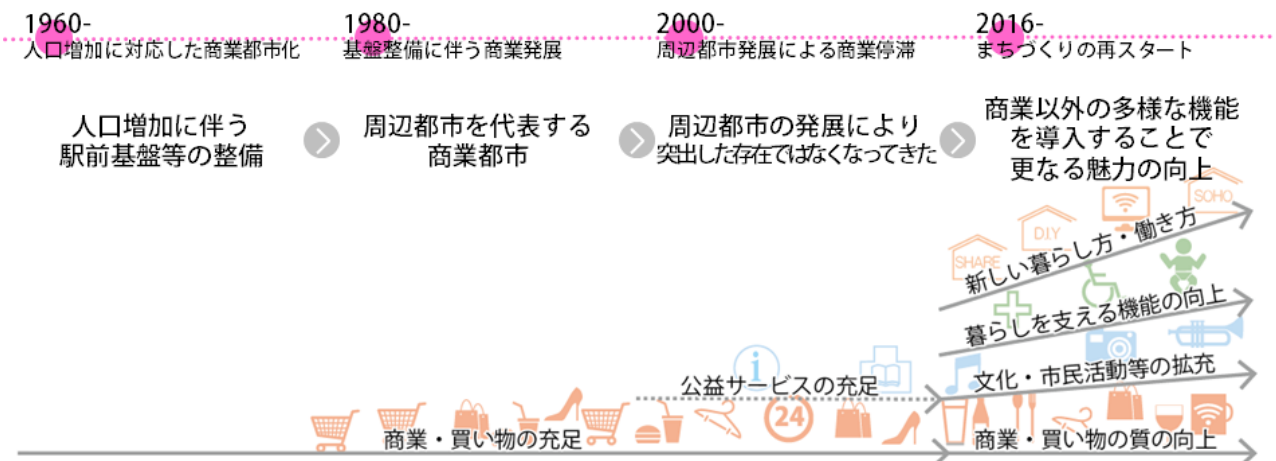
2 まちづくりの再スタート

町田市中心市街地では、1960年代から始まった急激な人口増加をきっかけに、駅移転に伴う駅前環境整備、原町田大通りや駅前通りといった都市計画道路の整備、大規模商業ビルの建設など、“量の充足”に重点を置いたまちづくりを進めることで、周辺都市に先んじて首都圏有数の商業集積都市として発展してきました。

しかし近年、その強みである商業にかげりが見え始めており、町田中心地域の人口も2030年をピークに減少に転じると予想されています。また、町田駅周辺の施設の老朽化が進んでいることや、周辺都市の開発・発展により激しい都市間競争が続く中で、今後も町田市中心市街地が埋没せずに選ばれ続けるための取り組みが必要です。

そこで、これまでのまちづくりで形成された資源を活かしながら、多様な魅力を持つまちになることを目指し、“質の向上”に重点を置いたまちづくりに向けて再スタートします。

“量の充足”から“質の向上”への転換のイメージ



3 まちづくりの取り組み

(1) 将来のまちの姿と6つの「目指すこと」

1) 将来のまちの姿

“質の向上”に重点を置いたまちづくりを進めることにより 2030 年に実現する将来のまちの姿として、「夢”かなうまち」を掲げます。

“夢”かなうまち

賑わいや交流に溢れ、

楽しい時間や新しいことが生まれ続けたり、
人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるような、
まちに関わるみんなの夢がかなうまち



2) 6つの「目指すこと」

将来のまちの姿の実現に向けて、6つのことを目指して以下の10のプロジェクトを進めます。

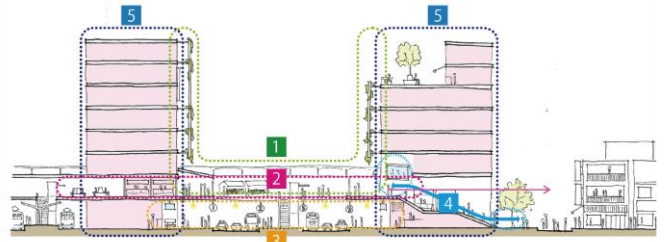


(2) “夢”まちプロジェクト

10のプロジェクトの内容は次のとおりです。

1 駅前空間 大規模店舗 魅力向上プロジェクト

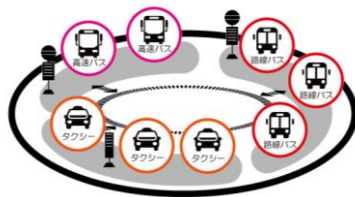
これからも市内外から多くの人に足を運んでもらうため、大規模店舗の魅力向上や印象的な駅前空間づくりを進めることで、町田駅前の持つ魅力の維持と向上を図ります。



- 駅前大規模店舗の更新・改善
- 公共施設の更新・改善・活用

4 快適で便利な 交通ターミナル をつくるプロジェクト

人が行き交い利用しやすい町田駅とするため、交通ターミナル機能の集約や広域交通機能の充実により、快適で便利な交通ターミナルづくりを行います。



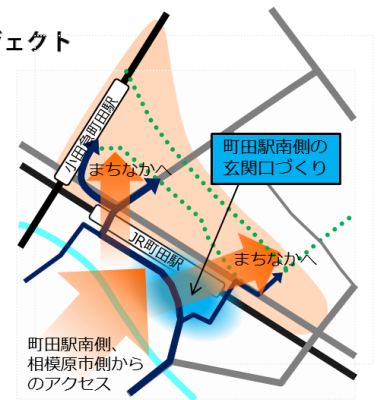
交通ターミナル機能の集約

イメージ：西鉄天神高速バスターミナル（福岡市）

- 快適に使える交通ターミナルづくり
- 様々な場所にアクセスしやすい交通ターミナルづくり

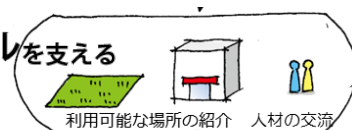
5 南の玄関口 のまちづくりプロジェクト

町田駅南側から多くの人にまちなかへ訪れてもらうために、交通環境の整備やまちなかへのアクセスの強化を通じて、南の玄関口を整えます。



- 町田駅南側に来街者を迎える玄関口をつくる
- 町田駅南側からまちなかへのアクセス強化
- 駅前の生活拠点づくり

8 様々な ライフスタイルを支える 多機能な場 を育むプロジェクト



中心市街地で充実した暮らしを楽しめるようにするため、幅広い人たちが活躍できる場の提供や快適な住まいづくりの提案を通じて、様々なライフスタイルを支えます。



(セミナー開催)



(シェアオフィス)

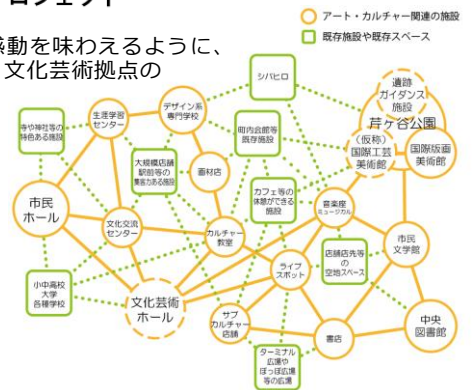


(保育施設)

- 将来の担い手の活躍の機会づくり
- 様々なライフスタイルを生み出す個性的な不動産活用の仕組みづくり
- 生活を支える機能の導入推進
- 商業環境と調和した、みどりある良好な住宅の誘導

9 町田発 アート・カルチャー を楽しむプロジェクト

多様な楽しさや感動を味わえるように、新たな取り組み、文化芸術拠点の整備等を行い、町田発のアート・カルチャーを楽しめるまちにします。



- アート・カルチャーの拠点づくり
- まちなかでのアート・カルチャーコンテンツの充実
- アート・カルチャーのネットワークづくり

2 個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト

幅広い(地域、年齢層、趣味)人たちにまちなかで長い時間を過ごしてもらうために、商店街が持つ個性や魅力の維持・向上を図り、「町田らしい商店街」をつくりまします。

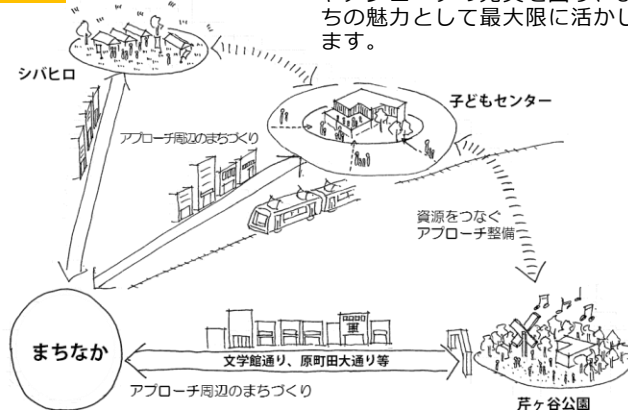
通り 路地



- 商店街の個性や魅力ある雰囲気維持
- 快適な歩行空間の実現
- 個性的な店舗づくり
- 誰にでもやさしい安心・安全な商店街づくり
- 賑わいを生み出す新たな魅力の創出

3 周辺資源をみがき まちなかとして活かすプロジェクト

町田駅を訪れた人に駅から少し離れた場所でも楽しんでもらうために、周辺にある資源(シバヒロ、芹ヶ谷公園など)の活用やアプローチの充実を図り、まちなかの魅力として最大限に活かします。



- 周辺資源のさらなる活用
- 周辺資源へのアプローチの充実

6 原町田大通り 憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト

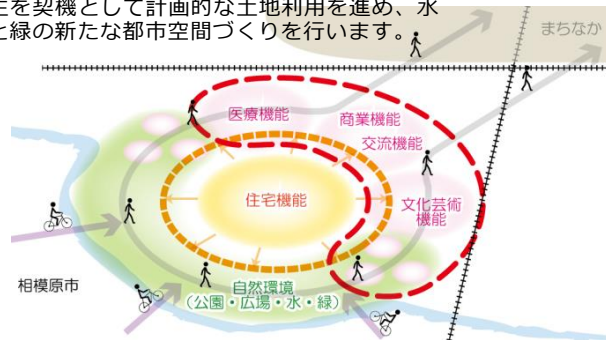
来街者が中心市街地でゆっくりと楽しい時間を過ごせるようにするため、原町田大通りを活用し、駅前の憩いの空間づくりや商店街の賑わいを連続させる空間づくりを行います。



- 原町田大通りを活用した憩いの空間づくり
- 原町田大通りを活用した賑わいの創出

7 駅からつながる水と緑の新たな都市空間づくりプロジェクト

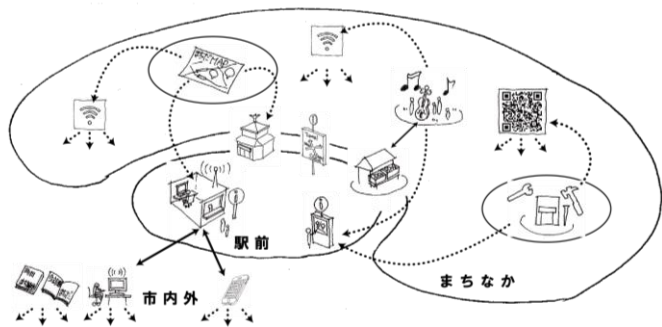
駅近くの自然豊かな空間を中心市街地の新たな魅力として活用するために、既存団地の再生を契機として計画的な土地利用を進め、水と緑の新たな都市空間づくりを行います。



- 駅近くの新たな都市空間づくり
- 団地再生に伴う住環境・都市基盤の整備

10 まちなか情報発信プロジェクト

来街者数の増加、来街者の満足度の向上、将来のまちづくりの担い手の獲得に向け、まちなかの魅力やまちづくりの情報を、市内外に発信します。



情報発信の体制・ネットワークのイメージ

- 駅前におけるまちなかの情報発信の仕掛けづくり
- まちの情報や魅力を市内外に発信する仕掛けづくり

【プロジェクトの見方】

1 駅前空間 大規模店舗 魅力向上プロジェクト

これから市内内外から多くの人に足を運んでもらうため、大規模店舗の魅力向上や駅前空間づくりを進めること、町田駅前の持つ魅力の維持と向上を図ります。

- 駅前大規模店舗の更新・改善
- 公共施設の更新・改善・活用

- 1 プロジェクトの名称
- 2 プロジェクトの概要
- 3 プロジェクトの実施イメージ
- 4 プロジェクトの主な実施内容

(3) まちづくりの進め方

1) まちづくりの進め方

時代に応じて多様化するニーズや、予測できない状況の変化に柔軟に対応するため、以下の3つの視点を持ってまちづくりを進めます。

①担い手の拡大

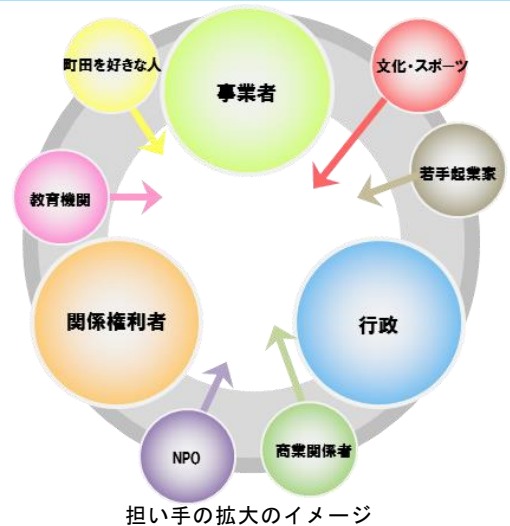
行政や事業関係者だけではなく、誰もが担い手として参加できるまちづくりを進めます。

②既存資源の活用

新たに作りだすことに加え、今ある資源を磨き、活かすことで、新たな価値を生み出していきます。

③柔軟かつ広がりある進め方

できる取り組みから順次スタートし、取り組みを進めながら改善する柔軟な対応、状況の変化への適応、取組同士の連携、新しい担い手の参加により、各取り組みや担い手を成長させます。



2) まちづくりの体制

市民・事業者・町田市中心市街地活性化協議会・町田市等が、取り組みの内容や時期に応じて、担い手となります。

各取り組みの担い手が効果的に動けるようにするため、町田市中心市街地活性化協議会※と町田市が2015年9月24日に締結した協定に基づいて相互に連携し、情報提供や必要なサポートを行います。

※中心市街地活性化協議会・・・「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく法定協議会。中心市街地の活性化・まちづくりに密接に関係する地元事業者、地域住民代表者などによって構成される、中心市街地の活性化の総合的かつ一体的な推進に関し協議する組織。